

いきいき かぐらざか

JCHO東京新宿メディカルセンター がん診療情報誌



〈れんげ草〉
れんげ草には「心が和らぐ、苦しみを和らげる」という花言葉があります。「みなさんが自分らしく過ごせるように」という意味をこめて情報誌を作成しております。

JCHO東京新宿メディカルセンター がん診療委員会

トモセラピーを導入して高精度放射線治療センターが開設します

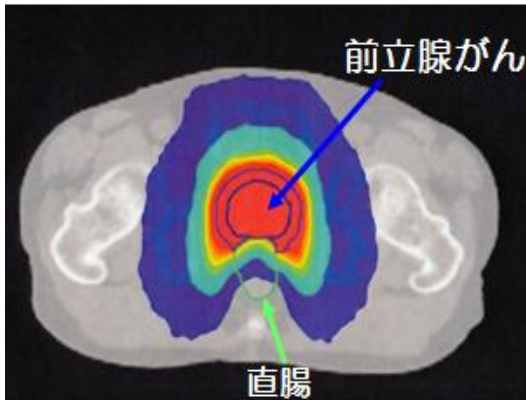
副院長・高精度放射線治療センター長 赤倉 功一郎

このたび、JCHO 東京新宿メディカルセンターでは、がん治の3本柱の一つである放射線治療を拡充するため、「トモセラピー」を導入して高精度放射線治療センターを開設します。

同センターではトモセラピーだけでなく、従来の「ライナック」を用いた放射線治療、またラジオアイソトープを用いた「放射線内用療法」を行っていきます。

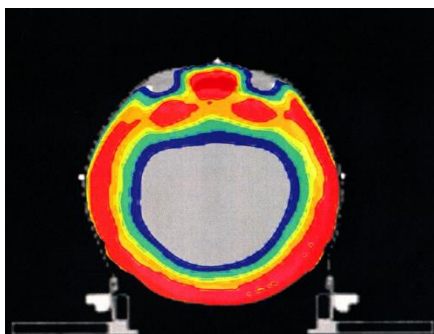


トモセラピーとは



(前立腺がん写真)

トモセラピーとは強度変調照射 (IMRT) の専用装置です。IMRT を用いると「より癌に厳しく、より正常組織に優しい」放射線治療ができます。特に前立腺がんや頭頸部腫瘍に効果的とされています。また、トモセラピーはIMRTだけでなくピンポイント照射 (定位放射線治療) や最大135cmまで照射が可能です。そのため脳腫瘍や肺がん、リンパ腫をはじめ多くのがん患者さまに高精度放射線治療を提供することができます。



(頭部皮むき照射写真)

頭蓋骨転移に対する「皮むき照射」：脳にはできるだけ当てずに頭蓋骨に照射することはほかの先端の放射線治療装置 (重粒子線や陽子線・ガンマナイフなど) ではできません。

まだまだ捨てたもんじゃないライナック



トモセラピーは非常に高精度な放射線治療を行える装置ですが、弱点もあります。

トモセラピーでは、さまざまな検証を行う必要があり、治療開始まで数日はかかってしまいます。

ライナックならトモセラピーに比べて、素早く照射を開始することができます。

また、照射する時間そのものもトモセラピーと比べて短いのが特徴です。

麻痺が出現した場合など急いで放射線治療を行う必要のある患者さまやがんのため痛みのある患者さまには、素早く短時間で治療ができるライナックのほうが相応しいこともあります。

究極のミサイル療法：放射線内用療法

放射線内用療法とはラジオアイソトープ(放射性同位元素)を用いた放射線治療です。トモセラピーやライナックが機械を用いて外から放射線を当てるのとは異なり、薬剤を注射したりカプセルを飲む治療方法です。当センターでは、

- 骨転移に対するストロンチウム治療(メタストロン®)
- リンパ腫に対するイットリウム治療(ゼヴァリン®)
- 甲状腺機能亢進症に対するヨード治療

の3つを行っております。ストロンチウム治療は2015年には延べ17投与を行い、都内で施行件数が第1位でした。

また、まもなく、ラジウムを用いた骨転移治療が認可される予定であり、この治療も早めに導入できるように検討中です。

高精度放射線治療を支えるスタッフたち

高精度放射線治療センターは様々なスタッフによって運営されています。

2名の放射線腫瘍医のほか内科・外科・泌尿器科・婦人科などの医師、看護師、医学物理士、放射線治療や核医学を専門とする放射線技師が協同して治療を担当します。

高精度な放射線治療を提供するのはもちろんですが、患者さまの気持ちを大切にしながらがん治療に取り組んでまいります。



第10回がん患者サロンを開催しました

東京新宿メディカルセンターがん相談支援センター 篠崎 陽樹

当院のがんサロンは東京都がん診療連携拠点病院の役割のひとつとして平成24年から開催されてきました。

がんサロンは同じ病気の人と悩みを話し合う機会や場所が欲しい、同じ立場の人と話したい、不安な気持ちを誰かに聴いてほしい、自分の経験を他の患者さんに役立ててほしい、療養に役立つ情報が知りたい、今後の生活について体験した人からアドバイスしてもらえたら安心など、がん患者さま、ご家族の方を対象とした交流の場です。同じ病気を体験した患者さまや、ご家族が自由にお話しただけの場として開かれています。毎回イベントや講義などの催し物を行っており、その後、ゆったりとした雰囲気の中で過ごし、話し合うことで、不安や孤独な気持ちが少しでもやわらぎ、病気と付き合っていけるきっかけになれば良いと考えています。

当院ではがんサロンとして年に3回開催しており、平成27年10月7日に記念すべき第10回「がん患者の心の持ち方 ～一緒に歌ってリフレッシュ！」を開催しました。今回は患者さま側からの提案で体験談を通して他の患者さんに「少しでも参考になれば」、「闘病中の気持ちをもっと明るく持てるように」、「歌を歌うことで気持ちをリフレッシュしていきたい」と企画されたものです。

前半ではがん患者の心の持ち方というテーマで体験談を話していただきました。がんと告知されてからの治療の経過、生活で起こった変化、こころの変化を皆様からお話を頂きました。

後半は腹式呼吸の方法を教わり姿勢や呼吸が体の循環や気分の変化を起こすことを実感しました。そして、「上を向いて歩こう」など参加した全員で歌いました。腹式呼吸や顔を上げて歌うと声も良く出て皆、で一緒に歌うことで、気持ちも自然と和らぎ楽しい雰囲気時間が過ぎていきました。

今回から、がんサロンの参加は院内及び院外の患者さまにも拡がりました。このため、たくさんの参加を頂き多くの交流が持てる会になったかと思いました。勇気を出して訪れてくださった方が、お帰りになるときに、ホッとした表情や笑顔を見せてくださると、とても嬉しくなります。リピーターが増え、ピアサポーターが出来、来訪者同志の輪が広がっていくことが私たちの希望です。もし内容にご興味がある方は一度がん相談支援センターへお越しください。いつでもお待ちしております。



<次回サロンの予定>

日時：平成28年6月22日（水）14:00～15:30

会場：当院 本館地下2階 第1会議室

臨床心理士によるお話を予定しています・

参加をご希望の方は、がん相談支援センターで
ご予約ください。

（本館1階 地域連携・総合相談センター内）

セカンドオピニオンについて

他の医療機関に受診中で、診断や治療方針について他の医師の意見もお求めになりたい方に対して、セカンドオピニオンを行っております。がん相談支援センター又は各科外来（受付時間：平日14時～16時）までお問い合わせください。30分から1時間を予定しております。健康保険は使えませんので1件あたり21,600円の費用がかかります。病理診断医による診断が行われる場合別途8,100円を徴収させていただきます。

また、当院受診中の方で、他医療機関のセカンドオピニオンをご希望される場合は各科受付又は主治医にお申し出下さい。

がん相談のご案内

「緩和ケアについて知りたい」「介護や看護の方法で悩んでいる」など、がんに関わる様々な問題、心配ごとについてのご相談に応じています。お気軽にご相談ください。

受付時間：月～金（祝日を除く） 8：30～17：00

担当：がん相談支援センター（地域連携・総合相談センター内）ソーシャルワーカー

連絡先：TEL 03-3269-8137(直通) msw@tkn-hosp.gr.jp

JCHO東京新宿メディカルセンターのご案内

〒162-8543 東京都新宿区津久戸町5-1

JCHO東京新宿メディカルセンター

TEL 03-3269-8111 (代)



【診療科】36診療科

整形外科／脊椎病科／脊椎脊髄外科／形成外科／リハビリテーション科／リウマチ科／外科／呼吸器外科／消化器外科／乳腺外科／脳神経外科／脳神経血管内治療科／内科／消化器内科／循環器内科／呼吸器内科／腎臓内科／糖尿病内分泌内科／血液内科／神経内科／緩和ケア内科／皮膚科／泌尿器科／産婦人科／眼科／耳鼻咽喉科／小児科／精神科／放射線科／放射線診断科／放射線治療科／歯科／歯科口腔外科／麻酔科／病理診断科／救急科



□ JR総武線（中央線各駅停車）
飯田橋駅東口 徒歩5分

□ 東京メトロ 東西線・有楽町線・南北線
飯田橋駅（B1出口） 徒歩4分

□ 都営大江戸線
飯田橋駅（C1出口） 徒歩3分

* 当院に一番近い地下鉄出口「C1」は、都営大江戸線利用の場合のみ便利です。
地下鉄で車椅子等でお越しの方は、南武線後楽園駅寄りの改札前にある「地上行きエレベーター」をご利用ください。

□ バス

・ 都営飯田橋駅前—小滝橋車庫（飯62）昼間だけの運行です。
厚生年金病院前 下車すぐ
・ 小滝橋車庫前—九段下（飯64）
飯田橋 下車 徒歩5分